2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名	国際計測器株式会社			上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7722			URL	https://www.kokusaikk.co.jp
代　　表　　者	（役職名）	代表取締役社長	（氏名）	松本 進一	
問合せ先責任者	（役職名）	取締役管理本部長	（氏名）	松本 博司	(TEL) 042-371-4211
半期報告書提出予定日		2026年11月11日	配当支払開始予定日		2026年11月30日

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家、アナリスト向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	4,433	△36.2	43	△95.6	67	△93.7	△53	―
2026年３月期中間期	6,946	22.5	992	314.4	1,086	613.5	667	―

（注）包括利益　2027年３月期中間期　280百万円（△60.3%）　2026年３月期中間期　704百万円（ 449.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△3.94	―
2026年３月期中間期	49.49	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	20,622	12,904	60.1
2026年３月期	20,800	12,961	60.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　12,408百万円　　2026年３月期　12,492百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	10.00	―	25.00	35.00
2027年３月期	―	20.00			
2027年３月期(予想)			―	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△6.3	1,600	△23.3	1,600	△30.3	1,000	△33.2	74.21

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　－　社（社名）　　－　　、除外　－　社（社名）　　－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	14,200,000株	2026年３月期	14,200,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	725,834株	2026年３月期	725,834株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	13,474,166株	2026年３月期中間期	13,490,743株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.４「１．経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・2026年12月14日（月）……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間連結会計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間連結会計期間の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（追加情報） …… 10
（セグメント情報等） …… 11
３．補足情報 …… 13
生産、受注及び販売の状況 …… 13

１．経営成績等の概況

（１）当中間連結会計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、部品納期の長期化や資源高の影響を受けており、ウクライナ情勢及び中東情勢の緊張が長期化し、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

また、当社グループが主力取引先としている中国や東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資については、前中間連結会計期間と同様の水準で推移しており、当社の主力顧客である日系企業や中国企業の欧州及び東南アジア等への海外進出が続いております。

国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、電動化の推進やカーボンニュートラルなどの世界的潮流への対応に注力するなか、電気自動車等の環境や省エネに配慮した自動車部品に対する製造・研究開発分野への投資が続いております。

このような経営環境のなかで当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランシングマシンとともに、研究開発用であり、イニシャルコストとランニングコストの低減が見込める電気サーボモータ式試験機の営業活動を国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機の受注や、国内部品メーカー向けの電気サーボモータ式試験機等の受注を獲得いたしました。

売上高につきましては、部品等の供給不足に伴う製品製造期間の長期化や、客先との納期調整は継続しており、納期のずれ込みが発生した結果、バランシングマシンや電気サーボモータ式試験機の売上検収が減少したことにより、前中間連結会計期間と比較して減少しております。

利益面につきましては、売上減少の影響を受けて前中間連結会計期間と比較して減少しております。

これらの結果、当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高44億３千３百万円（前中間連結会計期間比36.2%減）、営業利益４千３百万円（前中間連結会計期間比95.6%減）、経常利益６千７百万円（前中間連結会計期間比93.7%減）、親会社株主に帰属する中間純損失５千３百万円（前中間連結会計期間は６億６千７百万円の利益）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

海外向けバランシングマシン及び電気サーボモータ式試験機の出荷・検収が減少したため、全体として出荷・検収は減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前中間連結会計期間と比較して減少いたしました。

売上高　37億８千万円（前中間連結会計期間比36.7%減）
経常利益　３億７千１百万円（前中間連結会計期間比67.5%減）

〔日本（東伸工業株式会社）〕

電力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が増加したものの、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高　９千４百万円（前中間連結会計期間比69.9%減）
経常損失　４千２百万円（前中間連結会計期間は６千３百万円の利益）

〔米国〕

外資系タイヤメーカーへのバランシングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高　１億８千８百万円（前中間連結会計期間比36.7%減）
経常損失　１億６千４百万円（前中間連結会計期間は１億８千６百万円の損失）

〔韓国〕

韓国大手自動車関連メーカーへのバランシングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高　５億７千２百万円（前中間連結会計期間比44.5%減）
経常損失　３千５百万円（前中間連結会計期間は２億２百万円の利益）

〔中国〕

中国国内のタイヤメーカーへのバランシングマシンの出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益となりました。

売上高　４億２千８百万円（前中間連結会計期間比31.8%増）
経常利益　８千３百万円（前中間連結会計期間は５千８百万円の損失）

（２）当中間連結会計期間の財政状態の概況

（資産の部）

当社グループの当中間連結会計期間末の資産合計は、206億２千２百万円（前連結会計年度末比１億７千８百万円減）となりました。これは、第３四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比18億３千１百万円増）したものの、現金及び預金が減少（前連結会計年度末比11億７千１百万円減）したことや、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比８億８千万円減）したこと並びに商品及び製品が減少（前連結会計年度末比１億円減）したことが主たる要因であります。

（負債の部）

当社グループの当中間連結会計期間末の負債合計は、77億１千７百万円（前連結会計年度末比１億２千１百万円減）となりました。これは、借入金の増加により短期借入金が増加（前連結会計年度末比３億２千万円増）したことや、受注の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比２億３千６百万円増）したものの、前期に係る法人税等を納付したため未払法人税等が減少（前連結会計年度末比４億３千１百万円減）したことが主たる要因であります。

（純資産の部）

当社グループの当中間連結会計期間末の純資産合計は、129億４百万円（前連結会計年度末比５千６百万円減）となりました。これは、有価証券の時価上昇に伴い、その他有価証券評価差額金が増加（前連結会計年度末比２千８百万円増）したことや為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比２億７千７百万円増）したものの、配当金を支払ったことにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比３億８千９百万円減）したことが主たる要因であります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により10億４千４百万円減少し、投資活動により１億２千５百万円減少し、財務活動により３億４千６百万円減少した結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ14億６千６百万円減少し、40億１千７百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、10億４千４百万円の支出（前中間連結会計期間比22億１千１百万円の収入減少）となりました。これは、受取手形及び売掛金の回収が進み、売上債権が７億６千６百万円減少したことや前受金が１億５千２百万円増加したものの、仕掛案件の進捗により棚卸資産が16億３千９百万円増加したことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、１億２千５百万円の支出（前中間連結会計期間比１億７千１百万円の支出減少）となりました。これは、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が12億２千２百万円あったものの、資金運用のために定期預金の預入による支出が13億３千５百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、３億４千６百万円の支出（前中間連結会計期間比４億７千９百万円の支出減少）となりました。これは、短期借入金が３億２千万円増加したものの、長期借入金の返済による支出が３億２千９百万円あったことや配当金を３億３千６百万円支払ったことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、第３四半期以降の業績については計画通りに推移すると見込まれており、2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想において修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,537,390	7,365,699
受取手形及び売掛金	2,521,375	1,641,215
電子記録債権	409,672	553,647
商品及び製品	684,539	583,870
仕掛品	2,639,819	4,471,641
原材料及び貯蔵品	723,995	727,224
その他	483,665	456,290
貸倒引当金	△5,841	△3,459
流動資産合計	15,994,616	15,796,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,247,094	3,271,240
機械装置及び運搬具	267,126	279,701
土地	1,306,976	1,311,321
リース資産	3,036	3,036
その他	457,189	471,442
減価償却累計額	△2,527,408	△2,603,453
有形固定資産合計	2,754,014	2,733,287
無形固定資産		
その他	72,495	69,609
無形固定資産合計	72,495	69,609
投資その他の資産		
投資有価証券	763,345	808,107
繰延税金資産	14,698	24,813
保険積立金	1,102,956	1,095,526
その他	614,079	597,474
貸倒引当金	△515,382	△502,849
投資その他の資産合計	1,979,696	2,023,072
固定資産合計	4,806,205	4,825,969
資産合計	20,800,821	20,622,099

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	665,198	665,199
電子記録債務	628,528	768,606
短期借入金	790,000	1,110,000
1年内返済予定の長期借入金	659,776	646,400
未払法人税等	512,427	80,535
賞与引当金	149,425	189,165
製品保証引当金	90,872	72,575
前受金	2,186,534	2,422,906
その他	452,071	310,265
流動負債合計	6,134,832	6,265,655
固定負債		
長期借入金	1,120,482	803,970
繰延税金負債	155,767	176,899
役員退職慰労引当金	201,016	192,989
退職給付に係る負債	187,974	234,848
資産除去債務	19,158	19,315
その他	19,955	23,624
固定負債合計	1,704,353	1,451,646
負債合計	7,839,186	7,717,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	9,920,358	9,530,382
自己株式	△461,677	△461,677
株主資本合計	11,418,180	11,028,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,447	209,489
為替換算調整勘定	892,522	1,170,456
その他の包括利益累計額合計	1,073,969	1,379,945
非支配株主持分	469,485	496,647
純資産合計	12,961,635	12,904,797
負債純資産合計	20,800,821	20,622,099

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	6,946,394	4,433,923
売上原価	4,119,627	2,726,729
売上総利益	2,826,766	1,707,194
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	38,868	46,389
貸倒引当金繰入額	94,307	－
役員報酬	152,700	150,300
給料手当及び賞与	531,129	444,202
賞与引当金繰入額	59,127	71,085
退職給付費用	17,845	23,775
役員退職慰労引当金繰入額	4,240	4,040
運賃	195,820	155,313
減価償却費	20,150	19,458
研究開発費	26,971	57,234
支払手数料	136,940	153,435
その他	556,656	538,241
販売費及び一般管理費合計	1,834,757	1,663,475
営業利益	992,008	43,718
営業外収益		
受取利息及び配当金	72,122	77,851
為替差益	33,812	－
その他	5,579	23,647
営業外収益合計	111,514	101,498
営業外費用		
支払利息	11,195	10,742
支払手数料	1,730	15,625
売上債権売却損	1,672	146
為替差損	－	46,345
保険解約損	－	4,247
その他	2,727	173
営業外費用合計	17,325	77,280
経常利益	1,086,197	67,936
税金等調整前中間純利益	1,086,197	67,936
法人税、住民税及び事業税	412,331	86,595
法人税等調整額	△25,907	△738
法人税等合計	386,424	85,857
中間純利益又は中間純損失（△）	699,772	△17,920
非支配株主に帰属する中間純利益	31,984	35,201
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	667,788	△53,122

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	699,772	△17,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,296	28,042
為替換算調整勘定	△22,551	269,894
その他の包括利益合計	4,745	297,936
中間包括利益	704,517	280,016
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	690,298	252,854
非支配株主に係る中間包括利益	14,219	27,162

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,086,197	67,936
減価償却費	83,778	71,691
貸倒引当金の増減額（△は減少）	94,307	△15,101
賞与引当金の増減額（△は減少）	31,483	39,296
製品保証引当金の増減額（△は減少）	8,513	△20,119
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	27,342	45,439
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,240	△8,027
受取利息及び受取配当金	△72,122	△77,851
支払利息	11,195	10,742
為替差損益（△は益）	△7,564	10,459
売上債権の増減額（△は増加）	669,415	766,704
棚卸資産の増減額（△は増加）	△327,318	△1,639,348
仕入債務の増減額（△は減少）	△157,492	120,919
前受金の増減額（△は減少）	12,927	152,830
その他	25,781	△99,270
小計	1,490,684	△573,697
利息及び配当金の受取額	59,966	69,260
利息の支払額	△10,806	△11,223
法人税等の支払額	△372,980	△529,312
法人税等の還付額	50	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,166,914	△1,044,971
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,079,791	△1,335,960
定期預金の払戻による収入	824,800	1,222,094
有形固定資産の取得による支出	△36,802	△19,394
保険積立金の積立による支出	△9,000	△9,299
保険積立金の解約による収入	6,347	12,481
その他	△2,275	4,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296,722	△125,524
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△190,000	320,000
長期借入金の返済による支出	△329,888	△329,888
自己株式の取得による支出	△35,076	－
配当金の支払額	△270,684	△336,572
財務活動によるキャッシュ・フロー	△825,648	△346,460
現金及び現金同等物に係る換算差額	△72,922	50,748
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△28,378	△1,466,207
現金及び現金同等物の期首残高	5,093,059	5,483,363
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,064,680	4,017,155

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した仮定について重要な変更はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
バランシングマシン	4,014,124	－	219,315	396,558	66,740	4,696,740	7,514	4,704,254
電気サーボモータ式試験機	980,630	－	7,098	93,628	4,795	1,086,152	12,138	1,098,291
材料試験機	－	300,119	－	－	－	300,119	－	300,119
シャフト歪自動矯正機	63,026	－	18,649	68,674	－	150,349	23,231	173,581
その他	431,972	－	44,466	32,872	83,195	592,506	77,640	670,147
顧客との契約から生じる収益	5,489,753	300,119	289,529	591,734	154,731	6,825,869	120,525	6,946,394
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	5,489,753	300,119	289,529	591,734	154,731	6,825,869	120,525	6,946,394
セグメント間の内部売上高又は振替高	481,336	12,600	7,430	441,292	170,208	1,112,868	116,903	1,229,772
計	5,971,090	312,719	296,960	1,033,026	324,940	7,938,737	237,428	8,176,166
セグメント利益又は損失（△）	1,145,019	63,236	△186,424	202,962	△58,020	1,166,773	92,341	1,259,115

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	1,166,773
「その他」の区分の利益	92,341
セグメント間取引消去等(注)	△172,917
中間連結損益計算書の経常利益	1,086,197

（注）セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が180,806千円含まれております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
バランシングマシン	2,519,132	―	41,266	188,734	237,711	2,986,846	15,858	3,002,705
電気サーボモータ式試験機	544,894	―	―	67,761	64,942	677,599	2,973	680,572
材料試験機	―	85,558	―	―	―	85,558	―	85,558
シャフト歪自動矯正機	72,965	―	―	36,575	16,736	126,276	30,537	156,814
その他	263,383	―	89,918	44,629	24,847	422,778	85,493	508,272
顧客との契約から生じる収益	3,400,375	85,558	131,185	337,701	344,238	4,299,060	134,863	4,433,923
その他の収益	―	―	―	―	―	―	―	―
外部顧客への売上高	3,400,375	85,558	131,185	337,701	344,238	4,299,060	134,863	4,433,923
セグメント間の内部売上高又は振替高	380,364	8,615	56,865	235,231	84,156	765,233	134,076	899,309
計	3,780,740	94,173	188,051	572,932	428,395	5,064,293	268,939	5,333,233
セグメント利益又は損失（△）	371,800	△42,032	△164,090	△35,058	83,934	214,554	85,564	300,119

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	214,554
「その他」の区分の利益	85,564
セグメント間取引消去等(注)	△232,182
中間連結損益計算書の経常利益	67,936

（注）セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が178,126千円含まれております。

３．補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

区　分	生産高（千円）	前中間連結会計期間比（%）	セグメントとの関連
バランシングマシン	3,002,706	△35.1	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式試験機	680,572	△38.0	日本(国際),韓国
シャフト歪自動矯正機	156,814	△0.5	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	85,558	△71.5	日本(東伸)
その他	508,272	△33.7	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	4,433,922	△36.2	－

(注1)　金額は、販売価格によっております。
(注2)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

区　分	受注高（千円）	前中間連結会計期間比（%）	セグメントとの関連
バランシングマシン	4,295,540	＋10.3	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式試験機	841,215	△15.5	日本(国際),米国,韓国,中国
シャフト歪自動矯正機	224,053	△43.3	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	730,123	＋34.9	日本(東伸)
その他	695,151	＋7.1	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	6,786,084	＋4.8	－

(注1)　金額は、受注価格によっております。
(注2)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当中間連結会計期間末（2026年９月30日）

区　分	受注残高（千円）	前中間連結会計期間比（%）	セグメントとの関連
バランシングマシン	11,754,769	＋28.4	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式試験機	2,847,759	＋9.5	日本(国際),米国,韓国,中国
シャフト歪自動矯正機	590,607	＋17.9	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	744,156	＋21.3	日本(東伸)
その他	233,219	＋387.5	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	16,170,512	＋25.2	－

(注1)　金額は、受注価格によっております。
(注2)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

区　分	売上高（千円）	前中間連結会計期間比（%）	セグメントとの関連
バランシングマシン	3,002,705	△36.2	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式試験機	680,572	△38.0	日本(国際),米国,韓国,中国
シャフト歪自動矯正機	156,814	△9.7	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	85,558	△71.5	日本(東伸)
その他	508,272	△24.2	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	4,433,923	△36.2	－

(注1)　金額は、販売価格によっております。
(注2)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。